

生薬の漢方薬学的分類

獣医師 医学博士 小松靖弘
有限会社 サン自然薬研究所
東京都中央区銀座3-12-6

北里大学 生命科学研究所 和漢薬学講座 講座研究員

生薬の分類（神農本草経）

上薬：無毒で、命を養い、長期間服用可

人参、甘草、地黄、黄耆、茯苓他120種類

中薬：病気を治し、健康を保つ、使い方によっては副作用がある

柴胡、葛根、当帰、麻黄、芍薬他120種類

下薬：治す作用は強いが、副作用もあり、
長期服用に注意

大黄、附子、半夏、桔梗、連翹他125種類

漢方薬の分類

- 瀉剤：
- 発汗剤：桂枝湯、葛根湯、小青竜湯
 - 駆瘀血剤：桂枝茯苓丸、当帰芍薬散、桃核承気湯
 - 瀉下剤：大黄甘草湯、桃核承気湯、大承気湯
 - 利尿剤：五苓散、猪苓湯、防己黄芪湯、
 - 清熱剤：黄蓮解毒湯、白虎加人参湯
 - 和剤：柴胡を含む処方小柴胡湯、柴胡桂枝湯
 - 補剤：機能賦活、消化、吸収、呼吸(肺)、排泄(腎)、免疫機能、十全大補湯、人参養栄湯、補中益気湯

図3 気血水の量や巡りを正常化させるための生薬

1) 胃腸の調子を整えて元気をつける補気・健脾薬

人参・黄耆・白朮・蒼朮・山薬・甘草・大棗・膠飴・粳米・茯苓など

2) 栄養を改善して抵抗力を高める補血薬

当帰・芍薬・地黄・何首烏・阿膠・枸杞子・竜眼肉・遠志・酸棗仁など

3) 体の潤いを増す滋陰薬

麦門冬・天門冬・兜楼根・山茱萸・五味子・地黄・玄参・百合など

4) 体の機能の停滞を改善する理気薬

陳皮・枳実・香附子・木香・蘇葉・薄荷・烏薬・半夏・厚朴・柴胡など

5) 組織の血液循環を良くする駆お血薬

桃仁・牡丹皮・芍薬・紅花・牛膝・蘇木・大黄・川就・莪朮・丹参など

6) 体の水分の分布と代謝を良くする利水薬

猪苓・沢瀉・防己・黄耆・麻黄・蒼朮・白朮・車前子・茯苓・焦苳仁など

7) 体を温めて新陳代謝を高める補陽薬

附子・桂皮・乾姜・杜仲・蛇床子・淫羊鉦・丁子・山椒など

8) 生命力を高める補腎薬

地黄・山薬・山茱萸・菟絲子・枸杞子・亀板・杜仲など

9) 炎症を抑えたり解毒機能を補助する清熱解毒薬

黄連・黄終・黄柏・山梔子・夏枯草・知母・柴胡・連翹・金銀花など

気血水
に
関
与
す
る
生
薬

生薬の配合（漢方処方作り方）

君薬（治療の主薬をなす必須の生薬）

臣薬（君薬の作用を補助し強める生薬）

佐薬（君・臣の作用を調節あるいは副作用を防ぐ生薬）

使薬（処方中の生薬の調和や服用しやすくする生薬）

	桂枝湯	麻黄湯	小柴胡湯	四物湯
君薬	桂枝	麻黄	柴胡	当归
臣薬	芍薬	桂枝	黄芩	地黄
佐使薬	甘草 生姜 大枣	杏仁 甘草	半夏 人参 甘草 生姜 大枣	芍薬 川芎

漢方薬の処方名

1. 処方中の生薬の生薬名から 葛根湯
2. 構成生薬全ての名を並べる 苓桂朮甘湯
3. 構成生薬の数を意味する 六味地黄丸、四物湯
4. 処方の作用を意味する 安中散
5. 中国の四神に由来 小青竜湯
6. 合方した処方名から 柴苓湯、猪苓湯合四物湯
7. 加方したことを示す . . 葛根湯加川芎辛夷、桂枝加芍薬湯
8. イメージから 女神散、神秘湯
9. 上記の要素の組み合わせ 十味敗毒湯

漢方薬の剤型	漢方エキス製剤の剤型
煎剤 「湯」・・・ 葛根湯 「飲」・・・ 茯苓飲 「飲子」・ 当帰飲子 「方」・・・ 治打撲一方	顆粒 細粒 粉末 錠剤
丸剤・・・・・・ 八味地黄丸	カプセル剤
散剤・・・・・・ 当帰芍薬散	ドリンク剤
軟膏・・・・・・ 紫雲膏	

散剤：揮発性芳香性成分を保持させる剤型

丸剤：徐方性剤型